

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	令和6年12月24日(火) 高松サンポート合同庁舎 13階 災害対策室					
委員 (部会委員5名)	部会長	梶谷 義雄	(香川大学教授)	敬称略 委員は50音順		
	委員	潮 秀隆	(弁護士)			
	委員	倉内 慎也	(愛媛大学大学院准教授)			
	委員	西中 美和	(香川大学大学院教授)			
	委員	森川 さち子	(公認会計士)			
審議対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和6年9月30日契約分					
審議案件	総件数 8件(工事 4件、建設コンサルタント業務等 3件、役務及び物品 1件)					
	入札方式	件 名		契約の相手方	契約金額 (千円)	入札者数 落札率 (%)
工 事	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和6ー7年度 戸原中突堤築造工事		東洋建設(株)	429,000	2 93.84
	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和6年度 松山地方合同庁舎建築改修その他工事		(株)BRC	220,000	5 94.34
	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和6ー7年度 今治道路高大寺川橋下部A2外工事		井原工業(株)	233,860	4 91.89
	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和6ー7年度 仁淀川堤防維持工事		高陽開発(株)	220,000	1 98.83
建設コンサルタント業務等	一般競争	令和6年度 古庄地区護岸修正設計外業務		四国建設コンサルタント(株)	9,790	3 81.20
	簡易公募型 競争入札	令和6年度 野根安倉道路地質調査業務		構営技術コンサルタント(株)	40,238	10 78.01
	簡易公募型 プロポーザル	令和6年度 吉野川水系砂防事業監理業務		(一社)四国クリエイト協会	120,560	1 99.99
役 務 及び物品	一般競争	R6ー10 出力機器等最適配置調査及び出力サービス提供等業務		富士フイルムビジネ スイノベーション ジャパン(株) 四国 支社	421,476	1 88.92
報告事項	① 指名停止等の運用状況 ② 談合情報等への対応状況 ③ 再度入札における一位不働状況 ④ 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ⑤ 一者応札の発生状況 ⑥ 不調・不落の発生状況 ⑦ 高落札率の発生状況(工事) ⑧ 四国地整及び事務所ごとの平均落札率					
委員からの意見質問、それに対する回答等				別紙のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容				特になし		
備 考						

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札（政府調達協定適用外工事）

意見・質問	回 答
令和 6－7 年度 戸原中突堤築造工事	
●想定参加企業数について	
今回 B 等級の施工業者が対象ということであるが、四国管内にある B 等級の会社がどのくらいあるのか、また今回の海岸工事の参加要件を満たす会社は何社くらいあったのかご教授ください。	四国管内での B 等級の施工業者は 5 6 社、今回の工事への参加想定者数は 1 7 社です。
令和 6 年度 松山地方合同庁舎建築改修その他工事	
●入札価格について	
今回 5 社が入札を行い、1 回目の入札で全社予定価格以上の入札額となったのは、どういったことが考えられるか。	発注者としては、原因はわかりかねます。現地での実勢価格と我々が積算時に把握していた価格で一定の差があったのではないかと思います。
また、2 回目の入札においてなぜ各社が大きく価格を下げたのか、原因がわかれば教えてください。（建築工事で 1 回目に予定価格をオーバーした場合、2 回目の入札で価格が 1 0 % 程下がることはよくあることか。）	2 回目の入札の前には、工事内容等について補足説明を行っており、その結果を踏まえ各社がご判断頂いたものかと思われる。（建築工事で 2 回目の入札額が 1 0 % 程度下がることは珍しいことではありません。）
令和 6－7 年度 今治道路高大寺川橋下部 A 2 外工事	
●特になし	
令和 6－7 年度 仁淀川堤防維持工事	
●一者応札について	
今回一者応札となっているが、対象とされた業者数は何社くらいであったか。	4 8 社が該当しています。

(2) 一般競争入札（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回 答
令和 6 年度 古庄地区護岸修正設計外業務	
●業務内容について	
今回の業務では、護岸修正設計と光ケーブル設計がまとめて一つの業務として発注されているのはどういったことからか。	堤防の護岸修正と光ケーブルの敷設設計ということで類似性は乏しいが、業務の規模感を考えて、一つの業務として発注している。

(3) 簡易公募型競争入札（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回 答
令和 6 年度 野根安倉道路地質調査業務	
●落札業者の決定方法について	
最後にくじ引きにより落札業者が決定しているが、これはどういったことからか。	今回の入札は価格競争により行われたもので、10社入札中4社が同一最低価格での入札となったもの。あらかじめ入札説明書において、同額となった場合は電子入札システムによって電子くじで決定するとしていたところ。（予算決算及び会計令83条） 業務内容もシンプルなものであったため、価格がそろいやすくなったと思われる。
他の方法（参加者の選定評価が高い者を優先）もあるのでは。	
●参加者の地域要件について	
先ほどの業務(令和6年度 古庄地区護岸修正設計外業務)の参加資格は徳島県内において、本店を有するものとされていたが、本業務は四国地方整備局管内に本店を有するものとなっている。より広がっているのはどういったことからか。	競争性の確保のため、今回の業務においては四国地方整備局管内としている。 令和6年度 古庄地区護岸修正設計外業務の方が限定されているのは、業務の難易度、履行確実性、地域性を含め検討し、徳島県に本店を有する者（対象14者）で十分競争性が確保できると判断したものの。

(4) 簡易公募型プロポーザル（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回 答
令和 6 年度 吉野川水系砂防事業監理業務	
●業務内容	
業務内容の中に「地元及び関係行政機関等との調整協議等」とあり、非常に難しい内容かと思われるが、具体的にはどういったものか。	測量・調査や設計業務等に対する指導・調整、地元及び関係行政機関との調整・協議、事業を実施する際の事業監理、施工に入った際の施工管理を含め、一体的に多岐にわたって行って頂く業務となっている。
●契約業者について	
（一社）四国クリエイト協会とはどのような会社か。	前身は社団法人「四国建設弘済会」という公益法人。一般社団法人法制定後、組織改組し、「一般社団法人四国クリエイト協会」となったもの。本社は高松市にあり、各県に支所等を持っている。公益のために役立つような活動をしている会社と認識している。
●参加業社数について	
事業監理業務というのは、もともと手を挙げる業者が少ない業務であるという認識でしょうか。	業務内容が特殊で多岐にわたるということもあって、なかなか手をあげて頂きづらい側面があると思っている。また、事業監理業務は、業務の履行期間中に工期がある同一事務所の発注工事の参加者は参加できない等の条件があることも、こちらをとる方が少ない原因かと思われる。
業務内容の切り分け等工夫の余地はないでしょうか。	ある程度、集中的に事業を立ち上げていくということで、一体となって事業監理を行って頂くというのがこの業務の特徴なので、切り分けというのは難しいところ。 より多くの業者に入札参加頂けるよう参加資格要件の緩和等を検討して参りたいと思っている。

(5) 一般競争入札（役務及び物品）

意見・質問	回 答
R 6 - 1 0 出力機器等最適配置調査及び出力サービス提供等業務	
●出力機器等の台数について	
出力機器等の内訳、複合機 260 台、プリンタ 15 台というのは現状の台数を記載されたのか。	現状の台数を記載したものです。

2. 指名停止等の運用状況

意見・質問	回 答
特になし	

3. 談合情報等への対応状況

意見・質問	回 答
特になし	

4. 再度入札における一位不調状況（「価格が最低である入札参加者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況）

意見・質問	回 答
特になし	

5. 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況

意見・質問	回 答
特になし	

6. 一者応札の発生状況、入札者及び技術（企画）提案書提出者が1者の発生状況

意見・質問	回 答
工事の一者応札の発生割合がR5全期間と比較し、R6上期は下がっているということであったが、R5上期との比較だとどのような状況か。	R5上期は、全工種で33.5%となっており、うち一般土木では26%、維持修繕工事については55.9%となっている。R6上期との比較では、一般土木工事及び維持修繕工事とも減少している。

7. 不調・不落の発生状況

意見・質問	回 答
特になし	

8. 高落札率の発生状況（工事）

意見・質問	回 答
特になし	

9. 四国地整及び事務所ごとの平均落札率

意見・質問	回 答
特になし	

10. まとめ

四国管内全体のデータを見させていただいた限りにおいては、高落札や平均落札率の数字がやや上昇しているということであったが、これは物価、人件費の上昇が継続的に続いている状況であるので致し方ないかなというふうに思っている。

一者応札に関しては、R 5の通年との比較ではあるが、少し発生率が下がっており、これは喜ばしいことだと思っている。ただ、維持工事は心配である。今回の審議案件でも48社参加資格がある中で1社しか応札したださっていない。おそらく、地域を守ってくださるという義務感で応札したださったと思われる。ただ、入札価格としては、第1回の入札価格が予定価格を上回っており、業者の気持ちとしては、この価格では厳しいということを暗黙に言われているのではないかとと思われる。経済学的に言えば供給量というのは価格で決まってくるので、そのあたりの見直しとは言わないが、事業者の意見をよく聞いて反映させていくのが重要だと思う。